

自然エネルギー 普及のための取り組みは、 すべてにつながっています。



INTERVIEW

暮部 達夫

株式会社クレコス代表取締役社長



自然電力



2011年6月設立。「エネルギーから世界を変える」をテーマに掲げ、日本全国でグループとして約800メガワット(2018年4月末時点)の自然エネルギー発電事業に携わる。太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電所の設置・運営に必要な、開発・EPC(設計・調達・建設)・O&M(運営・保守)・アセットマネジメント等、すべてのサービスを手がける。2017年より電力小売事業に参入し、個人・法人に向けた電力供給のほか、企業等の環境(エネルギー)対策に向けた取り組み支援も行う。

自然電力株式会社
本社：福岡県福岡市中央区荒戸1-1-6
福岡大濠ビル3F/6F

クレコスの新たな持続可能な取り組みとして開始する、「QUONでんき」。まずはここに至る背景、想いを、暮部社長に聞きました。

「いよいよ「QUONでんき」がスタートします。」どうして化粧品会社が電気を?と疑問を持つ方もいらっしゃると思いますので、まずはその背景を聞かせてください。

クレコスは「母なる大地の恵みをまっすぐお肌届けたい」「化粧品を通して、日本の自然、伝統、文化を次の世代につなげたい」という想いを抱いて、創業した企業です。国産の自然素材にこだわった化粧品づくりを続けるなかで、企業活動を通して社会課題にチャレンジし、日本の未来を豊かにする「QUONプロジェクト」が生まれました。これまでは日本の農業・福祉・森林・地域の分野のサポートに携わってきましたが、環境・エネルギー問題も、いずれ取り組むべき重要な課題だと思っていました。私たちにとっては唐突ではなく、ごく自然な流れなのです。むしろ、これで最後のピースが揃ったという実感がありません。

構想したのはいつごろですか。

きっかけは2年前、佐賀県唐津市に自社工場FACTORYを設けたことです。工場の構想段階からクリーンな自然エネルギーを使うことを決めていて、幸いにも九州に本社を持ち積極的に活動されている自然電力さんとのご縁を得ることができました。その理念に共感するとともに、これは自社だけではなく、より多くの方に参加していただきたい仕組みだと思いました。

より気軽に参加できるというところがポイントですね。

電気の契約先をちよつと替えるだけで社会貢献できる手軽さは、「ふるさと納税」のようなイメージでしょうか。今回、自然電力さんというパートナーを得たことで、より多くの人とつながり、一緒に考える素晴らしいチャンスができました。やはりクレコス単独で行動するよりも、多くの人がかかわり行動した方が大きなインパクトがありますから、世界的にも、環境やエネルギーの持続可能性をより意識する大きな流れがありますね。

もともとクレコスのお客さまには、社会課題への関心が高い方が数多くいらっしゃいます。だからこそ、この「QUONでんき」にどんな反応を示してくださるか、楽しみにしているところでもあります。実際に社会課題を解決するために必要なことは何でしょうか。

絶対なのは、続けていくことです。たとえば私たちは創業時から障がい者施設とかかわっていますが、歳月を重ねるなかで、現実として子どもたちは成人し、親たちも老いたり亡くなったりしていきます。そこで必要なのは、寄付やボランティアなどの一時的な支援ではなく、彼ら彼女らが自立できる道を探り、ともに生きていける仕組みをつくっていくことです。私たちは、ものづくりの一部を担ってもらえる事業を起して収益につなげる実践をしてきました。サポートではなく、事業のパートナーとして関係していく形です。つまり経済



クレコスのユーザーの方々にも行動をシエアする必要性を感じたということでしょうか。

今回の電気に限ったことではなく、本来はすべての人が、どんな社会課題にも何らかの接点を持つべきだと思っています。それを強要するのではなく、ナチュラルに考えるひとつのきっかけとして、化粧品がありQUONプロジェクトがあると素敵だと思つてやってきました。しかし実際に行動に移すのは、ハードルが高いと感じる人も多いかもしれません。その点、電気は身近なので、ご参加いただきやすい。いつも使っている電気を自然エネルギーに切り替えることで、みなさんが社会や環境のことを考えたり話したりするよいきっかけになればと期待しています。

的なる成果と両立させることで、活動を無理なく持続していくことが可能になるのです。それは福祉だけでなく、すべての分野で同じことが言えます。そこに何らかの形で参加してくださる方が増えれば、事業が潤い、社会課題が根本的な解決に向かいます。

「QUONでんき」は収益の1%をQUONプロジェクトに投資します。使えば決まっているのでしょうか。

継続的な活動の支援が基本です。分野によつても方法は異なりますが、たとえば福祉で具体的な事例をあげると、「障がいを持つ人々を一流のシヨコラティエに」というビジョンのもと全国で店舗展開されている「QUONチョコレート」という事業があります。取り組みのひとつとして、こちらをサポートしていきたいと考えています。他にも、どの部分にどのような使うかは、きちんとご報告できるようにしたいと思います。こうしてQUONというワードのもとで社会や環境のことを考えるたくさんの方がつながれば、未来をよい方向に変えていく大きな力になるはず。一人でも多くの方がご参加くださることを願っています。



久遠チョコレート
https://quon-choco.com